

第 2 回 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 ワーキング 議事概要

事項	第2回 丹波東部(竹田川流域圏) 地域総合治水推進協議会 ワーキング	出席者	16名 (事務局除く)
日時	平成25年11月19日 9:30~11:00	場所	丹波県民局 柏原職員福利 センター1階 会議室
内容	1. あいさつ 2. 議事 (1) 第1回丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会での意見と その対応について (2) 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画(原案)の検討 ・モデル地区の選定について 3. その他(連絡事項) 4. 閉会		
資料	議事次第、出席者名簿、配席図 資料1 第1回丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会での意見と その対応 資料2 第1回丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 議事概要 資料3 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画(原案)		

1 開会

丹波土木事務所 企画調整担当 主幹より、開会のあいさつを行った。

2 議事

(1) 第1回丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会での意見とその対応について

事務局は、資料1及び資料3により、第1回協議会での意見とその対応について、説明を行った。委員からの意見は、下記の通り。

- ① 資料3P49の雨量の棒グラフは上下逆ではないか。(市島地区代表 井上委員)
- この表記となっている。(丹波土木 黒田主幹)
 - 一般の方は、閲覧できないものである。(丹波土木 川崎副所長)
 - 防災機関に対してフェニックス防災システムを通じて配信しているものである。(丹波土木 松井課長)
 - 職に就いている方が見て判断するものであれば、一般の方が閲覧できないとの記載があった方がいい。(市島地区代表 井上委員)

2.2 モデル地区の選定について

事務局は、資料3により、モデル地区の選定について、説明を行った。委員からの意見は、下記の通り。

(1) 減災対策について

1) 被害の発生にかかる情報の発信について

② 気象情報、避難情報等を住民に直接配信と記載があるが、どのような手段を考えているのか。(西紀北地区代表 山崎委員)

→ 「ひょうご防災ネット」で既に見られるようになっている。(丹波土木 黒田主幹)

→ パソコンだけでなく、携帯でも登録すればメールで情報が届き、確認できる。(総務企画室 中村主幹)

③ パソコンも携帯も持っていない方、あってもインターネットを見られない方もいるが、どのように取り組んでいくのか。(西紀北地区代表 山崎委員)

→ 防災マップ作りを通じて、推進していきたいと考えている。防災無線も活用の上、発信していきたい。(篠山市 山本課長)

④ 地区に無線の防災システムがあるが、現在は行事の案内放送等に使用されている。これも活用してはどうか。(西紀北地区代表 山崎委員)

→ 「ひょうご防災ネット」やインターネットの利用等、どの程度の方が使えるか調査の上、検討していきたい。(篠山市 山本課長)

2) 減災対策モデル地区について

⑤ 資料3 P72 篠山市の減災対策モデル地区として、岬ヶ鼻川周辺にも集落があるため、追加してもらいたい。(篠山市 近成課長)

(2) 流域対策について

1) 公共施設の分布

⑥ 市島地区での流域対策を検討するにあたり、公共施設は東側に位置するため、西側での施策も考える必要がある。(市島地区代表 井上委員)

→ 今後、検討していきたい。(丹波土木 黒田主幹)

2) 地域施設の活用について

⑦ 地元の施設で協力をお願いできるところはないか。(丹波土木 黒田主幹)

→ 公民館等に貯留タンクを設置するなど、協力は得られるかもしれないが、費用負担やスペースの問題がある。(市島地区代表 井上委員)

3) 水田貯留について

⑧ 雨水を水田に貯めるのは、現状でも川から逆流し冠水している状況であり、理解を得るのが難しいと考えられる。(市島地区代表 井上委員)

→ 協力を得られるよう啓発していきたい。(丹波土木 黒田主幹)

4) 森林の活用について

- ⑨ 森林に水をためる取り組みも、モデル地区としてつくった方がいいのではないか。腐葉土が薄くためにくい針葉樹の整備は行われているが、腐葉土が厚くためやすい広葉樹林は傷んでいる。治水効果を数値化できれば、今後の活用につながると考えられる。

(西紀北地区代表 山崎委員)

→ 現時点では、モデル地区周辺で森林事業を行っていない。また、治水効果の把握は難しい。針葉樹の整備は行われているが、広葉樹の整備はあまり進んでいないのが現状である。モデル地区として設定する場合には、地権者、地域の方の理解を得ることが重要で、市と相談の上、進めることになると考えられる。(丹波農林 小舟副所長)

- ⑩ 間伐を行うだけでも、治水効果は上がると考えられる。(西紀北地区代表 山崎委員)

→ 現在ある事業を活用していただきたい。また、篠山市でも検討を進められており、連携して考えていきたい。(丹波農林 小舟副所長)

(3) 竹田川での堆積について

- ⑪ 台風 18 号で野上野橋上流左岸側に土砂が堆積しており、1つの井堰の組合から要望書が出されている。要望すれば県がやってくれるという感覚でいるため、堆積土砂の対応の考え方など、定期的に連絡会等を実施してもらいたい。また、堆積しやすい状況を改善するため、改修や井堰の統合などについて総合的に進めていってもらいたい。

(春日地区代表 尾松委員)

→ 野上野橋の直下流で大きな落差がついており、その上流あたりは勾配が緩く堆積しやすい。現在のところ、改修については河川整備計画では位置付けられていないが、今後検討していきたい。(丹波土木 松井課長)

3 その他

本日の議事要旨を作成の上、構成員に送付するので、確認いただきたい。

第2回協議会では、住民が地域で実施している事例を紹介していただく予定である。開催日は、当初、年内の予定であったが、年明けで調整する。

4 閉会

第2回 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会 ワーキング
出席者一覧

(順不同、敬称略)

区分	氏名	所属等	出欠
兵庫県	出野上 聡	丹波県民局 丹波土木事務所 まちづくり参事	出席
	川崎 正信	丹波県民局 丹波土木事務所 副所長	出席
	黒田 正勝	丹波県民局 丹波土木事務所 企画調整担当主幹	出席
	小舟 博文	丹波県民局 丹波農林振興事務所 副所長	出席
	中谷 毅	丹波県民局 丹波農林振興事務所 篠山土地改良事務所 主幹	出席
	中村 直人	丹波県民局 総務企画室 主幹 兼 企画防災課長	出席
流域圏市	近成 和彦	篠山市 まちづくり部 地域整備課長	出席
	北山 博章	篠山市 農都創造部 農都整備課長	出席
	山本 寿幸	篠山市 市民生活部 市民安全課長	出席
	荒木 耕作	丹波市 建設部 管理課長	出席
	畑 幸一	丹波市 建設部 建設課長	出席
	上野 克幸	丹波市 生活環境部 防災対策室長	出席
	細見 勝	丹波市 産業経済部 農林整備課長	出席
県民	山崎 義博	篠山市 西紀北地区代表 自治会長会理事	出席
	尾松 一郎	丹波市 春日地区代表 自治会長会理事	出席
	井上 英道	丹波市 市島地区代表 自治会長会理事	出席